



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月14日

上場会社名 中外鉱業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 1491 URL <http://www.chugaikogyo.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西元 丈夫
 問合せ先責任者 (役職名) IR センター室長 (氏名) 桜庭 勲 TEL 03-3201-1541
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	74,289	28.5	△525	—	△551	—	△555	—
2026年3月期第1四半期	57,834	50.7	199	△47.6	162	△56.3	159	△56.1

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 △555百万円 (—%) 2026年3月期第1四半期 159百万円 (△56.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	△38.66	—
2026年3月期第1四半期	0.55	—

(注) 当社は、2025年10月1日を効力発生日として株式併合（普通株式20株につき1株）を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算出しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年3月期第1四半期	18,742	8,319	44.4	579.13
2026年3月期	17,570	9,366	53.3	651.86

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 8,319百万円 2026年3月期 9,366百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	34.00	34.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	146,000	29.5	260	△67.4	200	△72.3	10	△98.6	0.70
通期	300,000	6.5	1,770	△27.6	1,600	△30.1	1,000	△33.9	69.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	14,487,399株	2026年3月期	14,487,399株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	121,583株	2026年3月期	117,723株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	14,367,070株	2026年3月期1Q	14,410,433株

(注) 当社は、2025年10月1日を効力発生日として株式併合（普通株式20株を1株に併合）を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境や企業収益の改善など景気は緩やかな回復が見られるものの、継続的な物価上昇や国際情勢の不安定化、金融資本市場の変動等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済状況のもと、当社グループ(当社及び連結子会社)は、貴金属市況において金・プラチナ価格は、各国中央銀行の準備資産や地政学的リスクを背景とした安全資産需要が意識されるものの、米国景気の底堅さを背景に利上げ観測やドル高が進行する等、下落基調で推移いたしました。業績については、貴金属相場下落の影響で棚卸資産評価損を計上したことから低調に推移いたしました。機械市況においては、内外需ともに堅調に推移しているものの、中古工作機械業界の主要顧客層である中小企業においては、設備投資は減少傾向にあり厳しい事業環境のもと推移いたしました。コンテンツ事業においては、人気タイトルのグッズ販売に努めたものの、棚卸資産評価損を計上したことから業績は低調に推移いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は74,289,206千円(前年同四半期57,834,476千円28.5%増)、営業損益は525,640千円の損失(前年同四半期199,463千円の利益)、経常損益は551,319千円の損失(前年同四半期162,027千円の利益)、親会社株主に帰属する四半期純損益は555,492千円の損失(前年同四半期159,771千円の利益)となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

貴金属事業におきましては、売上高は73,531,695千円(前年同四半期56,871,180千円)、営業損益は344,255千円の損失(前年同四半期170,278千円の利益)となりました。

機械事業におきましては、売上高は210,138千円(前年同四半期212,665千円)、営業損益は4,546千円の利益(前年同四半期4,375千円の利益)となりました。

コンテンツ事業におきましては、売上高は533,976千円(前年同四半期750,304千円)、営業損益は1,666千円の損失(前年同四半期171,403千円の利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末における総資産の残高は、前連結会計年度末より1,171,849千円増加し、18,742,435千円となりました。

(流動資産)

流動資産の残高は、前連結会計年度末より1,133,460千円増加し、14,392,439千円となりました。

増加の主なものは、商品及び製品の増加(3,160,023千円から4,153,620千円へ993,597千円の増加)及び原材料及び貯蔵品の増加(1,465,688千円から3,936,042千円へ2,470,353千円の増加)であります。

減少の主なものは、現金及び預金の減少(6,299,962千円から3,354,373千円へ2,945,588千円の減少)であります。

(固定資産)

固定資産の残高は、前連結会計年度末より38,388千円増加し、4,349,995千円となりました。

(流動負債)

流動負債の残高は、前連結会計年度末より2,237,716千円増加し、8,242,542千円となりました。

増加の主なものは、短期借入金の増加(1,650,000千円から2,258,000千円へ608,000千円の増加)及び前受金の増加(1,722,964千円から3,671,349千円へ1,948,384千円の増加)であります。

減少の主なものは、未払法人税等の減少(733,234千円から3,509千円へ729,724千円の減少)であります。

(固定負債)

固定負債の残高は、前連結会計年度末より18,569千円減少し、2,180,238千円となりました。

(純資産)

純資産の残高は、前連結会計年度末より1,047,297千円減少し、8,319,654千円となりました。

減少の主なものは、利益剰余金の減少(3,240,346千円から2,196,285千円へ1,044,061千円の減少)であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2026年5月15日に公表の2027年3月期第2四半期(中間期)連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日公表の「2027年3月期第2四半期(中間期)業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,299,962	3,354,373
売掛金	554,916	891,117
商品及び製品	3,160,023	4,153,620
仕掛品	1,553,327	1,623,414
原材料及び貯蔵品	1,465,688	3,936,042
預け金	50,220	50,220
その他	236,112	444,922
貸倒引当金	△61,271	△61,271
流動資産合計	13,258,979	14,392,439
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,213,620	2,214,732
減価償却累計額	△445,131	△471,979
建物及び構築物（純額）	1,768,488	1,742,752
機械装置及び運搬具	567,364	605,364
減価償却累計額	△519,044	△524,342
機械装置及び運搬具（純額）	48,320	81,021
土地	1,472,391	1,472,391
その他	209,825	210,194
減価償却累計額	△118,021	△125,696
その他（純額）	91,804	84,498
有形固定資産合計	3,381,004	3,380,664
無形固定資産		
その他	15,427	14,218
無形固定資産合計	15,427	14,218
投資その他の資産		
投資有価証券	110,071	110,071
関係会社出資金	379,833	379,833
出資金	167,661	170,142
敷金及び保証金	145,169	184,700
繰延税金資産	109,111	108,447
その他	50,030	48,620
投資損失引当金	△46,704	△46,704
投資その他の資産合計	915,174	955,112
固定資産合計	4,311,606	4,349,995
資産合計	17,570,586	18,742,435

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,584,349	1,971,111
短期借入金	1,650,000	2,258,000
関係会社短期借入金	50,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	81,338	81,161
未払金	68,840	54,763
未払法人税等	733,234	3,509
前受金	1,722,964	3,671,349
契約負債	2,467	1,849
その他	111,630	150,797
流動負債合計	6,004,825	8,242,542
固定負債		
長期借入金	1,917,227	1,898,866
金属鉱業等鉱害防止引当金	3,953	3,953
預り敷金保証金	56,066	56,066
資産除去債務	219,400	219,400
その他	2,161	1,952
固定負債合計	2,198,808	2,180,238
負債合計	8,203,633	10,422,780
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	6,147,425	6,147,425
利益剰余金	3,240,346	2,196,285
自己株式	△120,820	△124,056
株主資本合計	9,366,952	8,319,654
純資産合計	9,366,952	8,319,654
負債純資産合計	17,570,586	18,742,435

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	57,834,476	74,289,206
売上原価	57,042,456	74,160,570
売上総利益	792,019	128,636
販売費及び一般管理費	592,556	654,277
営業利益又は営業損失(△)	199,463	△525,640
営業外収益		
受取利息及び配当金	33	3
国庫補助金収入	7,788	7,788
未払配当金除斥益	3,374	1,477
為替差益	—	2,488
その他	1,969	619
営業外収益合計	13,165	12,377
営業外費用		
支払利息	6,781	13,912
支払手数料	8,661	1,230
休山管理費	28,933	21,441
為替差損	4,693	—
その他	1,531	1,470
営業外費用合計	50,601	38,055
経常利益又は経常損失(△)	162,027	△551,319
特別利益		
固定資産売却益	1,049	—
特別利益合計	1,049	—
特別損失		
固定資産除却損	1,697	—
特別損失合計	1,697	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	161,380	△551,319
法人税、住民税及び事業税	3,517	3,509
法人税等調整額	△1,908	663
法人税等合計	1,609	4,173
四半期純利益又は四半期純損失(△)	159,771	△555,492
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	159,771	△555,492

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	159,771	△555,492
四半期包括利益	159,771	△555,492
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	159,771	△555,492

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却額を含む。）は、次のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	15,620千円	41,275千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	貴金属事業	機械事業	コンテンツ 事業				
売上高							
(1) 外部顧客への 売上高	56,871,180	209,180	750,304	3,810	57,834,476	—	57,834,476
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	3,485	—	3,682	7,167	△7,167	—
計	56,871,180	212,665	750,304	7,493	57,841,644	△7,167	57,834,476
セグメント利益又は セグメント損失(△)	170,278	4,375	171,403	△4,826	341,232	△141,768	199,463

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、投資事業、太陽光発電による売電収入及び不動産賃貸収入を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△141,768千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△141,768千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	貴金属事業	機械事業	コンテンツ 事業				
売上高							
(1) 外部顧客への 売上高	73,531,695	207,493	533,976	16,041	74,289,206	—	74,289,206
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	2,645	—	3,682	6,327	△6,327	—
計	73,531,695	210,138	533,976	19,723	74,295,534	△6,327	74,289,206
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△344,255	4,546	△1,666	△44,322	△385,698	△139,942	△525,640

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、投資事業、太陽光発電による売電収入及び不動産賃貸収入を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△139,942千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△139,942千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。